

開かれた議会 親しまれる議会を目指して

# 伊丹市議会 だより



itami November.13, 2021 vol.241

## CONTENTS

vol.241の主な内容

- P.2~5 … 代表質問
- P.5 … 個人質問
- P.6~7 … 議案審査
- P.7 … 議決結果
- P.8 … 市議会からのお知らせ  
会議の予定



伊丹市議会HP



伊丹市マスコット  
たみまる

各議員の質問等の動画をスマートフォン等で簡単にご覧いただけるよう、二次元コードを掲載しています。(通信費は利用者負担になります。)

# 代表質問

令和3年第4回定例会(9月2日～10月6日)では、各会派を代表して6人の議員が会派代表質問を行い、市政全般にわたる運営や将来の方針などが問われました。

その一部を紹介します。なお、詳細については、ホームページや二次元コードからご覧いただけます。

伊丹市議会 **検索** ①会議録検索システム(12月上旬に掲載予定) ②本会議中継・録画配信 ③代表質問・個人質問・一般質問・質疑の要旨

市議会ホームページから3つの方法でご覧いただけます。



## 会派別議員一覧 伊丹市議会の会派構成は次のとおりです。

<b>●新政会</b> (代表) 戸田 龍起 (議長) 加藤 光博 高塚 伴子 杉 一 土井 秀勝 花田康次郎	<b>●公明党</b> (代表) 竹村 和人 北原 速男 山本 恭子 (副議長) 篠原 光宏 里見 孝枝 永松 敏彦	<b>●フォーラム伊丹</b> (代表) 保田 憲司 (監査委員) 山藺 有理 大津留 求 岸田真佐人 高橋 有子 安藤なの香	<b>●創政会</b> (代表) 佐藤 良憲 新内竜一郎 吉井 健二 川井田清香 鈴木久美子
<b>●日本共産党伊丹市議会議員団</b> (代表) 上原 秀樹 久村真知子	<b>●伊丹維新・無所属の会</b> (代表) 齊藤 真治 佐竹 璃保	<b>○会派に属さない議員</b> 小西 彦治	

**新政会**



**高塚 伴子 議員**



**高齢者へのインフルエンザ予防接種費用と妊娠中の方への新型コロナワクチン優先接種**

**問** ①昨年度は無償だった高齢者へのインフルエンザの予防接種について、今年度の対応は。②妊娠中の方への新型コロナワクチン優先接種の実施状況と、接種ができなかった接種希望者への対応は。

**答** ①昨年度は新型コロナとインフルエンザの同時流行による高齢者の重症化が危惧されたためインフルエンザの予防接種を無償としたが、今年度は市内高齢者の新型コロナ

ワクチン接種の2回目接種率が9割近いことから現時点で無償化は考えていない。②8月31日からの8日間、里帰り中の方を含む妊婦と、そのパートナーを対象に240人の優先予約枠を設置し募集した結果、30人の申込みがあった。定員に満たなかった原因は、接種を希望する妊婦が既に接種されていたものと認識している。なお、9月13日時点で翌日以降の接種予約枠が空いていることから、今後、新たに接種を希望する妊婦は、随時予約し接種していただけるものとする。

**地球温暖化対策～ゼロカーボンシティ宣言とCO<sub>2</sub>削減への取組～**

**問** ①国の計画と整合性をもった市地球温暖化対策推進実行計画の策定時期及び計画策定に合わせたゼロカーボンシティ宣言実施の予定は。②新庁舎・統合新病院におけるCO<sub>2</sub>削減への取組が、市内の温室効果ガス削減に与える効果は。

**答** ①国の計画見直しの動向を踏まえ、市においても来年3月末までに次期地球温暖化対策推進実行計画の策定、第3次環境基本計画の見直しを行いたい。また、市の環境施策に対する姿勢を市民や事業者を示す必要があると考えており、ゼロカーボンシティの表明についても検討する。②新庁舎では、国が認証するエネルギー計算法による設計上の試算で、CO<sub>2</sub>排出削減量を年間約4,700トンと見込んで

おり、環境省が定めるモデル建物の基準値に比べ約56%の削減効果となる。また、統合新病院においても、同基準値に比べ50%削減を目標としている。



新庁舎建設工事の進捗状況

**公明党**



**竹村 和人 議員**



**新型コロナウイルス感染症拡大防止策～自宅療養者への生活支援～**

**問** 新型コロナの感染が拡大している中、自宅療養を続ける患者への生活支援を伊丹健康福祉事務所と連携して行うことについての見解は。

**答** 市新型インフルエンザ等対策行動計画では、自宅療養に支援が必要な患者について、患者や医療機

**多様化するストレスを要因とする不登校対策**

**問** ①多様な課題やストレスなどの不登校の理由に応じた児童生徒への働きかけや関わりへの対応策は。②新たな不登校や長期化の要因となり得る児童生徒の不安や家庭環境の悪化に対する支援策は。

要に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーにつなぐなど「チーム学校」として、それぞれの立場による専門性を生かした支援に加え、個々の児童生徒に対し、教育面の支援だけでなく、心理的、福祉的な視点からも対策を講じる。また、全小中学校に不登校対策支援員を配置し、登校支援や学習支援、校外支援を実施する。②日々の教育活動や行事において自尊心を高めることや、「わかる授業」を実践していくとともに、関係部局との連携やスクールソーシャルワーカーの、より一層の活用

**答** ①不登校の要因は様々であり、対応も多岐にわたる。まずは、全教職員が児童生徒の不安を受け止め、必

関からの要請があった場合は、国・県と連携し、必要な支援を行うと規定しており、現在、伊丹健康福祉事務所からの要請に基づき、呼吸に不安のある自宅療養者には、パルスオキシメーターの貸与につき支援を行っている。また、県は支援を希望する自宅療養者に5日分の食料や日用品等を提供しており、今後、伊丹健康福祉事務所から情報提供を受ける中で、本市も食料品等の追加支援を早期に実現していく。

等を推進し支援する。不登校を減らすためには、校長のリーダーシップが何より大切であり、教員が全力で不登校に立ち向かっていく状況をつくるよう全力で取り組んでいく。



相談室(花里小学校)

**フォーラム伊丹**



**高橋 有子 議員**



**新型コロナ対策～自宅療養者への支援～**

**問** 県が行っている自宅療養者への食料や衛生用品の配布の実施を知らず、パルスオキシメーターもなく、メディア情報により不安な状態で自宅療養されている方がいる。県の支援が行き届いていないのであれば、本市が食料支援等の取組を行うべきと考えるが、見解を伺う。

**答** 本市では伊丹健康福祉事務所からの依頼に基づき、早急にパルスオキシメーターが必要な自宅療養者に対し、8月27日より、市職員が自

宅への配達を行っている。また、自宅療養者が県から提供される物資だけでは足りないと感じている状況も認識しており、今後、伊丹健康福祉事務所と協議する中で、食料や衛生用品等の追加支援を早期に実現していきたい。



パルスオキシメーター

**アイホール～市民との熟議～**

**問** 地域住民を含め市民は、アイホール(演劇ホール)にはとても価値があり、これから可能性がより広がることを知り始めたところである。市政の在り方として、今後のアイホールについて市民の議論を巻き起こし、一緒に考える姿勢、熟議が必要であるとするが、見解を伺う。

**答** 演劇関係者らによるアイホールの存続を求める声の高まりとともに、市の取組が新聞各社に大きく取り上げられたことから、市民への周知が進んでいるものとする。8月末にアイホールの存続を望む演劇関係者団体の代表から署名が提出された際、市長が直接意見交換を行った。また、市民からの問合せや、来庁された演劇関係者に対しても、担当職員が丁寧に説明し意見を伺っている。現段階でアイ

ホールの廃止を決定したわけではなく熟議の最中と考えており、今後は市内中学・高校の演劇部など市内演劇関係者からも意見を伺う予定である。なお、今回の市民意識調査の結果とともに、これからの文化施設3館(文化会館・音楽ホール・演劇ホール)の活用方策の検討につながる市民向け説明会を開催するなど、市民の意見を直接伺う機会を設けることも検討している。

**創政会**



**川井田 清香 議員**



### 新型コロナワクチン接種

**問** 本市の新型コロナワクチンの年齢階層別接種率は。また、本市は緊急事態宣言発令中の教育活動等に関する方針で、12歳以上のワクチン接種を推進する方針を示しているが、若

い世代への接種推進に対する見解は。  
**答** 9月12日時点におけるワクチンの2回目接種率は、年齢階層別で65歳以上が88.3%、60歳から64歳までが80.7%、50歳代が67.8%、40歳代が56.2%、30歳代が41.5%、20歳代が34.6%、12歳から19歳まで

### ICT教育の進捗状況とオンライン授業の推進

**問** 新型コロナの感染拡大が長期化する中、オンライン授業の在り方や導入を検討する必要があると考えるが、見解を伺う。

的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めているほか、学習だけではなく学校行事や児童生徒会活動等でもタブレット端末を活用し、教育活動の充実を図っている。また、オンライン授業の推進では、ICTの活用により時間や距離の制限を超えた学習を実施することができ、登校できない場合はオンラインやウェブ会議システムの活用による健康観察や授業配信を行うなど、子どもたちとのつながりや学び

**答** 小中学校では、昨年度GIGAスクール構想にて整備した1人1台のタブレット端末を活用し、「主体

が14.0%となっている。また、若い世代への接種については、ワクチンの有効性が確認されていることから、積極的な接種を検討していただくことが重要と考える。9月初旬には12歳から39歳までのワクチン未接種の市民に個別勧奨のハガキを送付するなど、感染状況やワクチンの副反応と有効性について正しい情報を提供することで、接種への不安軽減に取り組んでいる。今後も、ワクチン接種に関する正しい知識の普及により多くの若年層の方が接種できるよう取り組んでいく。

を止めない取組を進めている。今後もオンラインによる授業等の質の向上を図り、学びの充実に向けICTを効果的に活用していく。



タブレット端末を使った授業

**伊丹維新・無所属の会**



**佐竹 璃保 議員**



### イオン株式会社との包括連携協定からの商業発展

**問** 本市は、地域活性化および市民サービスの向上を図ることを目的に、イオン株式会社と包括連携協定を締結した。都市ブランドのイメージ向上に寄与できるご当地WAONの考案や、だんらんホリデー事業の啓発の拡充など、協定を機に発展でき得る本市の施策について、見解を伺う。

**答** ご当地WAONは、自治体の観光名所やご当地キャラクターなどがデザインされたカードを市内外の方々に購入いただくことにより、自治体の都市ブランドのPRに寄与するものとする。また、ご当地WAONに掲載されているICチップにさまざまな情報を搭載することができることから、新庁舎での出退勤管理に活用を予定している。加えて、イオンモール内のだんらんホリデー協賛店の拡充に向け

て、だんらんホリデーの趣旨や家族層が集うことによるイオンモール内店舗が参画するメリットを伝えるなど、相互連携を図るとともに、事業PR用のぼりの設置場所の検討など啓発方法を含めて考え、より効果的な周知、啓発に努める。



だんらんホリデーののぼり

### アイホールの今後

**問** 文化に重きを置いたアイホールにおける、赤字運営でも、市として許される財政範囲は。また、今後、公募による指定管理委託といった運営方法も視野に入れ、横並びでの検討が

出来れば、市民の思いも届く市の決定が出来るかと考えるが、見解は。  
**答** 今後、多様な視点から検討を行うことから、現時点では、一律に分岐点を示すことは困難である。また、仮に運営費や舞台装置の改修費用を見直し演劇事業をアイホールで継続

する「経営改善」を選択した場合には、指定管理者の公募も視野に入れる必要があると考える。  
 横並びの検討に繋げるためには、まずは存続を望む演劇関係者の方々から新たな演劇ホールの在り方について提案されることが必要となってくるものとする。

**日本共産党伊丹市議会議員団**



**上原 秀樹 議員**



### 学校における新型コロナ感染症対策 ~登校を見合わせる選択~

**問** 市は、感染症対策による登校見合わせの対象を広く認めるよう転換し、子どもたちの学びや成長へ

の支援を明確に位置づけることが必要と考えるが、見解を伺う。  
**答** 国の通知等に基づき、感染の可能性が高まっていると保護者が考えるに合理的な理由があると校長が判断する場合に、指導要録上「出席停

止・忌引き等の日数」として記録し、欠席とはしないなど柔軟な取扱いも可と位置づけている。教育委員会としても、子どもたちの学びや支援の充実は非常に重要であると捉えているため、各学校において、当該児童生徒及び家庭との連携を継続し、個々の実情を踏まえながら、オンラインによる授業配信や授業支援システムによる課題の送受信及び健康観察を実施することにより、子どもたちの学びや成長を支援できるよう取り組んでいる。

### 演劇ホールの存続をめぐる今後の進め方

**問** 演劇ホールの今後の在り方について、結論を出す期限は決めておらず、市民の意見を踏まえて検討を進めるとされており、市民向けの説明会を予定されている。演劇ホールという専門的かつ独自性の高い演劇等を提供する施設として、市民と一緒に演劇関係者からの意見を聞く場を設定し、市民、利用者、専門家などによる熟

議の場が必要と考えるが、見解を伺う。  
**答** アイホールは32年間演劇ホールとして運用されてきたことから、専門的かつ独自性の高い演劇等を提供する施設としての説明を行う場を、改めて設けることは考えていない。なお、演劇関係者らが自らの表現の場を確保するために行う、市民理解を求める場であれば、演劇関係者が主体となって、開催していただくことになる。これからの文化施設3館(文化会館・音

楽ホール・演劇ホール)の活用方策の検討につながる市民向け説明会は、市民の認識とニーズを把握し、施設を最大限有効活用する方策について市民とともに考える場であると認識している。



演劇ホール(アイホール)

## 個人質問

代表質問のほか、13人の議員が個人質問を行いました。ここでは、質問の項目のみを紹介します。代表質問同様、詳細については、ホームページや二次元コードからご覧いただけます。



**新国会**

**杉 一 議員**  
 ○市民まちづくりプラザの管理運営○内部統制

**公明党**

**北原 速男 議員**  
 ○新型コロナ感染症対策○デジタル化に伴うスマート窓口

**里見 孝枝 議員**  
 ○医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律○障がいのある人に対する理解を深めるための基盤づくり○防災・減災

**永松 敏彦 議員**  
 ○小型家電の回収状況とパソコンリサイクル処理における広報の現状

**フォーラム伊丹**

**保田 憲司 議員**  
 ○コロナ禍における市民の暮らしへの影響

**山岡 有理 議員**  
 ○新型コロナ感染拡大に伴う救急搬送○妊産婦に対する新型コロナ感染症対策への取り組み○文化芸術に関わるビジョン

**大津留 求 議員**  
 ○人権教育・啓発推進に関する基本方針の見直し○演劇ホール(アイホール)活用問題から文化・芸術を考える

**岸田真佐人 議員**  
 ○JTEや特別支援教育支援員にもノートパソコンを○医療的ケア児支援法への対応○アイホール(演劇ホール)の教育的価値

**安藤なの香 議員**  
 ○市民の心の健康に関する電話相談○地方公務員の心の健康

**創政会**

**新内竜一郎 議員**  
 ○新型コロナ感染症の対応策

**鈴木久美子 議員**  
 ○都市計画道路山田伊丹線昆陽泉町工区

**日本共産党伊丹市議会議員団**

**久村真知子 議員**  
 ○中学校の校則○生活保護制度の周知状況○DV防止における男性への周知の取り組み

**伊丹維新・無所属の会**

**齊藤 真治 議員**  
 ○商業活性化と支援策○空き家対策○アイホールの今後の在り方



# 議案審査

令和3年第4回定例会では、**議案は40件**でした。  
ここでは、専決処分報告を除く全議案と、これらのうち、決算に関する議案が付託された2つの委員会の内容をご紹介します。

なお、議案名の横にA～Cとあるのは、賛否が分かれた議案です。各議員の賛否は7ページの議決結果をご覧ください。

## 一般会計決算審査特別委員会

### ○令和2年度 一般会計歳入歳出決算 A

#### 一般会計決算規模は歳入約1,058億円、歳出約1,041億円

令和2年度一般会計歳入決算額は1,058億1,427万円で、前年度比約271億2,859万円増(34.5%増)となっています。国庫支出金は特別定額給付金事業費補助、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、公立学校情報機器整備費補助、子育て世帯臨時特別給付金事業費補助等の増により約245.1億円増加、市税は株式等譲渡所得の増加等による個人市民税の増及び設備投資による固定資産税(償却資産)等の増により約4.2億円増加しています。

また、一般会計歳出決算額は1,040億8,903万円で、前年度比約264億1,377万円増(34.0%増)となっています。補助費等は新型コロナウイルス感染症対策に伴う特別定額給付金、交通事業会計及び病院事業会計への補助の増等により約210億円増加し過去最高額を更新したほか、扶助費も子育て世帯臨時特別給付金、ひとり親世帯臨時特別給付金及び保育所保育委託料等の増等により約8.7億円増加し過去最高額を更新しています。



## 特別会計並びに企業会計決算審査特別委員会

### ○令和2年度 病院事業会計決算 B

#### 統合新病院の整備に着手するとともに、地域の基幹病院として役割を果たす

令和2年度は、統合新病院の整備に着手し、基本設計や不動産鑑定、物件調査等が行われました。

また、保全改修工事として、空調設備他の改修が実施されました。医療機器の整備としては、注射薬自動払出システムや多項目自動血球分析装置などの更新を行うとともに、国及び兵庫県の新型コロナウイルス感染症対策の補助金を受けてコンピューター断層撮影装置(CT)や全自動遺伝子解析装置等の整備が行われました。令和2年10月に兵庫県の指定を受けた兵庫県認知症疾患医療センターの運営を開始し、認知症に関する専門医療の相談や鑑別診断等を行い近隣医療機関と連携する体制が整備されました。新型コロナウイルス感染症の対応を行い、その影響を受けたものの、地域の医療機関との連携を図り、地域の基幹病院としての役割を果たすよう努めています。



#### その他の議案

- 令和2年度 国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
- 令和2年度 後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算 C
- 令和2年度 介護保険事業特別会計歳入歳出決算
- 令和2年度 中小企業勤労者福祉共済事業特別会計歳入歳出決算
- 令和2年度 鴻池財産区特別会計歳入歳出決算
- 令和2年度 荒牧財産区特別会計歳入歳出決算
- 令和2年度 新田中野財産区特別会計歳入歳出決算
- 令和2年度 水道事業会計決算
- 令和2年度 工業用水道事業会計決算
- 令和2年度 下水道事業会計決算
- 令和2年度 交通事業会計決算
- 令和2年度 モーターボート競走事業会計決算

## 委員会付託なし

- 令和3年度 一般会計補正予算(第7号)
- 令和3年度 国民健康保険事業特別会計補正予算
- 令和3年度 後期高齢者医療事業特別会計補正予算
- 令和3年度 介護保険事業特別会計補正予算
- 令和3年度 病院事業会計補正予算
- 教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定
- 伊丹ミュージアム条例の制定
- 阪神間都市計画事業中野土地区画整理事業の施行に関する条例を廃止する条例の制定
- 共同利用施設等条例の一部改正
- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 幼保連携型認定こども園条例等の一部を改正する条例の一部改正
- 国民健康保険条例の一部改正
- 笹原小学校大規模改造(第2期)工事の請負契約の一部変更契約
- みやのま文化の郷整備工事の請負契約の一部変更契約
- 物品の取得(3件)
- 市道路線の認定
- 令和2年度 水道事業会計未処分利益剰余金の処分
- 令和2年度 工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分
- 令和2年度 下水道事業会計未処分利益剰余金の処分
- 令和2年度 モーターボート競走事業会計未処分利益剰余金の処分
- 令和3年度 一般会計補正予算(第8号)
- 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
- 教職員定数改善と少人数学級推進を求める意見書

# 議決結果

議案は、委員会審査のあと本会議で議決されます。  
第4回定例会の**議案40件**全てが、**可決・認定・承認**されました。



議案 **23**件  
報告 **15**件  
意見書 **2**件

### 賛否の分かれた議案

- A 令和2年度 一般会計歳入歳出決算
- B 令和2年度 病院事業会計決算
- C 令和2年度 後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算

会派名 議員名	A	B	C
<b>新政会</b>	認定	認定	認定
加藤 光博 (議長)	—	—	—
高塚 伴子	○	○	○
杉 一	○	○	○
戸田 龍起	○	○	○
土井 秀勝	○	○	○
花田康次郎	○	○	○

<b>公明党</b>			
北原 速男	○	○	○
山本 恭子	○	○	○
篠原 光宏 (副議長)	○	○	○
竹村 和人	○	○	○
里見 孝枝	○	○	○
永松 敏彦	○	○	○

<b>フォーラム伊丹</b>			
保田 憲司	○	○	○
山岡 有理 (監査委員)	○	○	○
大津留 求	○	○	○
岸田真佐人	○	○	○
高橋 有子	○	○	○
安藤なの香	○	○	○

<b>創代会</b>			
新内竜一郎	○	○	○
吉井 健二	○	○	○
佐藤 良憲	○	○	○
川井田清香	○	○	○
鈴木久美子	×	○	○

<b>日本共産党伊丹市議会議員団</b>			
上原 秀樹	×	×	×
久村真知子	×	×	×

<b>伊丹維新・無所属の会</b>			
齊藤 真治	○	○	○
佐竹 璃保	○	○	○

<b>会派に属さない議員</b>			
小西 彦治	○	○	○

○…賛成 ×…反対 —…議長は表決に加わりません。

## 議員の寄附やあいさつ状は禁止されています。



議員は、選挙区内の人（法人、その他の団体を含む）に対して、祭りなどの寸志・差し入れ・お祝いなどの寄附や、年賀状・暑中見舞いなどの時候のあいさつ状（答礼のための自筆によるものを除く）を出すことが、公職選挙法により禁止されています。また、議員に対する寄附の勧誘や要求も禁止されています。公正な政治活動をしていくために、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 請願・陳情について



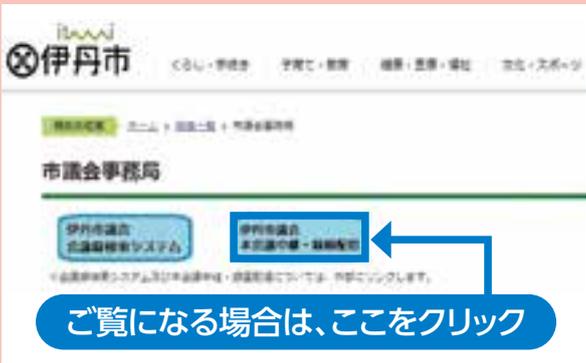
市政などについて、市民の皆さまが直接市議会に要望できる制度があります。それが「請願」と「陳情」です。

伊丹市議会では、請願はそれぞれ所管の委員会で審査され、その結果、採択された請願は、市長等に送付して、その実現を要請したり、関係機関に意見書などを提出します。

陳情書は、その写しを全議員に配付し、将来の市政運営等の参考としています。

なお、請願書の提出に際しては、1名以上の紹介議員が必要ですが、陳情書の提出には必要ありません。

## 9月定例会の質疑、代表質問、個人質問及び答弁は、市議会ホームページからご覧いただけます。



視覚障がいのある方を対象に、「朗読ボランティアグループ玉手箱」の皆さんの協力により、市議会だよりを朗読録音したCDを提供しています。

## 会議の予定

日	月	火	水	木	金	土
11/28	29	30	12/1	2	3	4
		議会運営委員会		第5回定例会 本会議招集日 議員総会		
5	6	7	8	9	10	11
		本会議第2日 一般質問	本会議第3日 一般質問	本会議第4日 一般質問	本会議第5日 一般質問 議案質疑	議会運営委員会
12	13	14	15	16	17	18
		総務政策 常任委員会	文教福祉 常任委員会	都市企業 常任委員会		
19	20	21	22	23	24	25
				議会運営委員会 本会議最終日 議員総会		



### 【柿衛の台柿】

富有柿に似て扁平で、実の上部が花模様に盛り上がっていることから台柿と呼ばれます。酒造りで栄えた元禄時代以降、多くの文人墨客が伊丹に来遊し、漢詩人・学者の頼山陽らが台柿のあまりの美味しさに感動し、詩文や画に表現しました。その台柿の二世は、今でも柿衛文庫の庭で毎秋たわわに実をつけています。

また、市内の東野地区の接ぎ木技術により育てられた三世木は、小中学校の校庭等に植樹されています。

請願・陳情の受付は随時行っています。あなたの声を伊丹市議会へ。

「伊丹市議会だより」編集発行：伊丹市議会事務局議事課 〒664-8503 伊丹市千僧1丁目1番地（市役所議会棟2階）  
☎072-780-4090 ☎072-784-8092 http://www.city.itami.lg.jp/  
伊丹市議会だよりは85,700部作成し、印刷費は1部あたり7.0円です。